

第17回鉄研三田会写真展 出展作品一覧

2008. 11. 13~19
四谷ポर्टレートギャラリー



01 加藤 湊



02 竹中泰彦



03 長谷川進吾



04 吉村光夫



05 宮地 元



06 高井薫平



07 上野 巖



08 横瀬弘志



09 藤田秀一



10 齋藤 晃



11 安達 格



12 後藤文男



13 千葉健太



14 伊藤正光



15 杉 行夫



16 木下輝章



17 隅田 表



18 林 峯



24 野口真弥



30 梅村正明



19 後藤文男



25 荻原 勲



31 下島啓亨



20 堀川正弘



26 隅田 衷



32 井門義博



21 文蔵正弘



27 宮地 元



33 木村和男



22 石附武積



28 入野皓一



34 磯部栄介



23 山田 亮



29 山田信一



35 武者圭治



36 村樫四郎



42 高井薫平



48 大野眞一



37 梅村正明



43 矢崎康雄



49 横瀬弘志



38 菊池祐樹



44 戸田佳男



50 田尻弘行



39 浅原信彦



45 鈴木重久



51 村松 功



40 浅原信彦



46 高須 清



52 坂戸宏太



41 林 薫



47 岩沙克次



53 青山東男

| | 氏名 | 卒年 | タイトル | 撮影年月 | 場所 | コメント |
|----|--------|------|------------------|---------|-----------------------------|---|
| 1 | 加藤 湊 | 1942 | 相模鉄道 2号機 | 1941早春 | 相模鉄道(現JR東相模線)厚木 | 神中線を買収して一時2号機がダブった。その後、相鉄は国有化され相模線に、旧神中の方が相鉄になった |
| 2 | 竹中 泰彦 | 1958 | 横浜赤レンガ倉庫 -昭和29年- | 1954.07 | 国鉄 横浜港 | 機関車の後がそれです。米軍の接收下にあり、手前の線路が今の“汽車道”です |
| 3 | 長谷川 進吾 | 1963 | 昭和34年 深名線 | 1959.08 | 深名線 幌加内 | 幌加内駅でキハ05の朱鞠内行と86の深川行混合列車が交換したある夏の日 |
| 4 | 吉村 光夫 | 1948 | 過ぎし日の青山峠の恋人 | 1959.08 | 近畿日本鉄道大阪線 高安付近 | 戦前形私鉄電車の名車 近鉄デ 2200が青山峠を快走する |
| 5 | 宮地 元 | 1963 | 夕方の通勤列車 | 1960.06 | 東京駅 | 常磐線の東京駅発着列車が朝夕1本ずつあった。鉄道会館(大丸東京店)も建設中である |
| 6 | 高井 薫平 | 1960 | 発車を待つ一番列車 | 1962.02 | 名古屋鉄道岡崎市内線 国鉄岡崎駅前 | 夜行を岡崎で降りたら、室内灯を点した単車が発車準備中だった |
| 7 | 上野 巖 | 1963 | 電化直前 最後の力走 | 1962.04 | 山陽本線 瀬野駅東方 | 真新しい柱に架線も張られた瀬野駅を出発、力強く白煙を吹き上げながらいざ力行開始 |
| 8 | 横瀬 弘志 | 1960 | "夢の超特急" 東京駅デビュー | 1964.07 | 東海道新幹線 東京駅 | 開業間近の7月15日、試運転列車が東京駅に初めて入線。0kmポストに頭を揃えた |
| 9 | 藤田 秀一 | 1969 | 冬の厚化粧 | 1969.03 | 胆振線 北湯沢 | 周囲を埋め尽くすドカ雪。しかし春はもう近い |
| 10 | 斉藤 晃 | 1957 | 最後の晴れ舞台 | 1970 春 | 呉線 安登・安芸川尻 | 今日の安芸の牽引機はC59だ。安登上りは呉線最大の勾配区間で全力疾走の列車が見通せる晴れ舞台だった |
| 11 | 安達 格 | 1972 | 憩うひととき | 1971.08 | 山陰本線 浜田機関区 | 米子・浜田間を担当するC57の12号機が、機関庫内でしばしの休息をとっていた |
| 12 | 後藤 文男 | 1976 | 温泉駅の印象 | 1978.04 | 上田交通 別所温泉 | 湯治客を運んできた丸窓電車はレトロ感あふれる駅で一休み |
| 13 | 千葉 健太 | 1987 | 岡山臨港鉄道 | 1984.07 | 岡山臨港鉄道 大元 | 昭和59年まで存在した岡山の小私鉄。キハ1003は小型で好ましいスタイルだった |
| 14 | 伊藤 正光 | 1969 | 実りの秋 | 1995.11 | 小田急電鉄 渋沢 - 新松田 | 稲穂にそそぐ秋の日差しの中をNSEが行く。ロマンスカーはやっぱりNSEだ |
| 15 | 杉 行夫 | 1967 | 名鉄510形と芥見の桜 | 2002.04 | 名古屋鉄道美濃町線 芥見 - 下芥見 | 既に廃線された名古屋鉄道・美濃町線の芥見付近。通常運行では入線しない510形がゆく |
| 16 | 木下 輝章 | 1974 | 光る鉄路 | 2002.12 | 関東鉄道常総線 南芥谷 | ほぼ毎日降り降りしている駅でも夜明け前の景色は新鮮に見える |
| 17 | 隅田 衷 | 1975 | 雨の根府川 | 2004.06 | 東海道本線 根府川 | 同期の旅行会の帰り、珍しく1/125、AFで成功した |
| 18 | 林 嶋 | 1964 | 浜大津の印象 | 2005.06 | 京阪電鉄 浜大津 | かつて江若鉄道もあったが、今は京都市営地下鉄に乗り入れる京津線と石山坂本線の車両が行き交う |
| 19 | 後藤 文男 | 1976 | 家路を急ぐ人々を乗せて | 2006.03 | 広島電鉄市内線 八丁堀 | 夕陽迫る広島の繁華街を超低床路面電車グリーンムーバーが続行で走る |
| 20 | 堀川 正弘 | 1973 | 保津川下り | 2006.03 | 嵯峨野観光鉄道 トロッコ保津峡 - トロッコ亀岡 | 昔C57はトロッコ。やっと船とマッチング。前夜の雨で水が濁ってしまっただのが残念 |
| 21 | 衣蔵 正弘 | 1956 | Eコロジエ | 2007.04 | 鹿児島市交通局 高見馬場 - 鍛冶屋町 | 2006年鹿児島中央駅前から施工の芝生軌道敷は、今や鹿児島駅前に到着。さて費用対効果は? |
| 22 | 石附 武積 | 1981 | 新緑のまきば線 | 2007.05 | 羅須地人鉄道協会まきば線 | 30年前の糸魚川のボプラ並木を思い出しながらシャッターを切った幸せな一瞬だった。 |
| 23 | 山田 亮 | 1977 | SLの古戦場をゆく485系 | 2007.08 | 日豊本線 田野 - 青井岳 | 日豊本線からSLが消えて35年、当時のままの古い鉄橋をハウステンボス色の485系がゆく |
| 24 | 野口 真弥 | 1997 | 門デフ快走 | 2007.10 | 磐越西線 喜多方 - 山都 | 門司鉄道管理局デフレクターを取り付けるとまるで九州の風情だが、ここは会津 |
| 25 | 荻原 勲 | 1961 | 色即是鉄 | 2007.10 | 土佐くろしお鉄道宿毛線 平田 | 四国300kmの修行人の道を終えても"空"の心にはなりきれず、未だ道は遠い |
| 26 | 隅田 衷 | 1975 | "つばさ" 進入 | 2008.01 | 東北新幹線 大宮 | 真冬の早朝は見事な光線。まるで"つばさオンステージ" |
| 27 | 宮地 元 | 1963 | 早春の米坂線 | 2008.03 | 米坂線 中郡付近 | 米沢盆地にも春の訪れと共に雪が消え始めた。国鉄急行色の羽前橋行の列車がやってきた |
| 28 | 入野 皓一 | 1974 | 今日も古豪は頑張る | 2008.03 | 函館市交通局 十字街 - 魚市場通 | 雪晴れの朝、前夜半に降った春の雪も日かげ以外は溶ける中、原色唯一の生き残り530号が颯爽と現れた |
| 29 | 山田 信一 | 1971 | なつかしい風景 | 2008.03 | 島原鉄道 南島原 - 島鉄本社前 | 島鉄のキハ20は南線廃止前に一部が旧国鉄色に塗装され、昭和30年代の光景が出現した |
| 30 | 梅村 正明 | 1967 | 四川省の鳥かご列車 | 2008.03 | 中国 四川省 涪江煤電鉄道 | 立ちっぱなしの乗客をのせて朝の通勤列車がやってきた |
| 31 | 下島 啓亨 | 1963 | 車の来ない村 | 2008.03 | 中国 四川省 芭石鉄道 芭溝 - 黄村井 | 菜の花満開の3月初、毎日霞がかかった空の下、1日4本の列車が車の来ないこの村にやってくる |
| 32 | 井門 義博 | 1979 | 朝 | 2008.02 | 中国 鉄法鋳務局専用線 曉南 - 王千 | 鉄法では70年代製造のDLと99年生の新しい蒸機が共通運用、DLの廃車が進んでいる |
| 33 | 木村 和男 | 1972 | 夕陽に輝く南票駅 | 2007.01 | 中国 南票炭鋳専用線 | 夕陽を受け、山に向うSL列車 |
| 34 | 磯部 栄介 | 1971 | 早春の星空の下 | 2008.04 | 中国 黒龍江省 樺南森林鉄道 立新 | 森林鉄道の夜、峠越えに憩うC2、電球一つに蒸気が白い |
| 35 | 武者 圭治 | 1972 | 立新出発 | 2008.04 | 中国 黒龍江省 樺南森林鉄道 立新 | 峠に向けて立新駅を出発するC2ブッシュブルの運炭列車 |
| 36 | 村櫻 四郎 | 1963 | 昼の休み | 2008.07 | インドネシア Pangka Tege I | 精糖工場で砂糖キビを載せた台車を押し込む作業に小休止が訪れる |
| 37 | 梅村 正明 | 1967 | 蒸気健在のダーズリン鉄道 | 2007.12 | インド ダージリン・ヒマラヤ鉄道 | サルに見送られて特別列車のチャーター列車が走る |
| 38 | 菊池 祐樹 | 2001 | 混沌 | 2007.09 | インド NET鉄道 ダージリン駅 | 神々しきヒマラヤ、緑深き谷。街の賑わい。天上と下界がせめぎあう避暑地の朝である |
| 39 | 浅原 信彦 | 1964 | 赤い動輪 | 2006.09 | ポーランド 国鉄 ウォルステン機関区 | O L49形は1 C 1の中形機関車。ドイツ風に赤く塗られた1750ミリの動輪が美しい |
| 40 | 浅原 信彦 | 1964 | 夜の機関区 | 2006.09 | ポーランド 国鉄 ウォルステン機関区 | 今も尚、現役大形蒸機が活躍するウォルステン機関区。蒸機のかすかな息づかいのみが聞こえる |
| 41 | 林 薫 | 1976 | 世界遺産の街並みを行く | 2001.09 | チェコ プラハ カレル橋 | プラハのシンボルはヴァルタヴァ(モルダウ)川とカレル橋。橋の上から撮影した |
| 42 | 高井 薫平 | 1960 | モーリー軽便鉄道にて | 2006.09 | ドイツ オストゼー-バートキュールンクスボルンヴェスト | この鉄道は街中を走ることでよく知られるが、終着駅にもすばらしい世界が展開していた |
| 43 | 矢崎 康雄 | 1971 | アルプス越えの動脈路 | 2007.05 | スイス BLS Noternn付近 | ベルンからブリュクへのIC。新トンネル開通を前に訪れた。今や急行や貨物は新線を通る |
| 44 | 戸田 佳男 | 1959 | ミラノ行EC"チザルビーノ" | 2007.05 | スイス BLS ピーチェル橋梁 | レッツベルグ・ベーストンネルの開通でこの場所での"チザルビーノ"は見納めとなった |
| 45 | 鈴木 重久 | 1963 | ミラノへ向けて | 1973.10 | スイス 国鉄 チューリヒ中央駅 | スイスが誇る電車TEE"ゴタルド"。4電源方式で欧州の電化区間はほとんど走れた名車 |
| 46 | 高須 清 | 1975 | 往年の"ミストラル" | 1978.08 | フランス パリ・リオン駅 | C C 6500形 E L 牽引のフランス国鉄代表特急。これからマルセイユへ旅立つところだ |
| 47 | 岩沙 克次 | 1962 | 再現した"ル・ミストラル"号 | 2006.09 | フランス ル・クルーゾーヌヴェール線 | 2006年春に復元なったマウンテン241 P形はステンレス客車をひいて快走した |
| 48 | 大野 眞一 | 1965 | ニースの新しい架線レストラム | 2008.02 | フランス ニース・マゼナ広場付近 | 全長8.7kmのうち駅間2ヶ所約900mのみ架線レスとしたバッテリートラムが昨年開業した |
| 49 | 横瀬 弘志 | 1960 | 夜のプラットホーム | 2008.05 | フランス 国鉄 トゥール駅 | フランス中部の古都トゥール。夜のトゥール駅に乗客もまばらな電車が発車を待つ |
| 50 | 田尻 弘行 | 1960 | ソリエル沿岸の市電 | 2007.11 | スペイン マヨルカ島ソリエル | ヨーロッパ有数の保養地、ソリエル市の海岸を行く。単車が木造のボギー車を牽いている |
| 51 | 村松 功 | 1964 | コロラドの峡谷を行く | 2008.07 | アメリカ コロラド州 "Rockwood" | その昔、金鉱で賑った時代の機関車が、観光客で満員の客車を牽いて断崖を通り抜ける |
| 52 | 坂戸 宏太 | 1999 | "カナディアン号" ロッキー越え | 2007.08 | カナダ アルバータ州ジャスパー | 伝統ある大陸横断列車カナディアン号が、夏のカナディアンロッキーをゆく |
| 53 | 青山 東男 | 1965 | 1882年製BLWが生きている | 2007.04 | キューバ オルギン県サンタルチア | キューバの東端にあるラファエル・フレイレ製糖工場の30インチレールの風景 |